

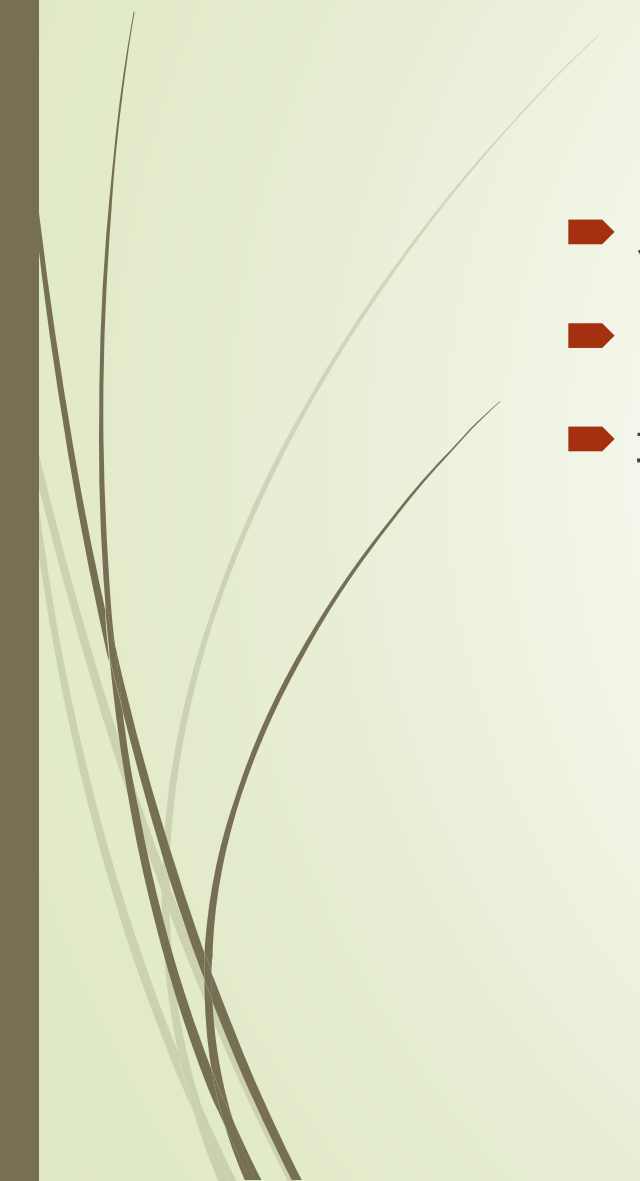


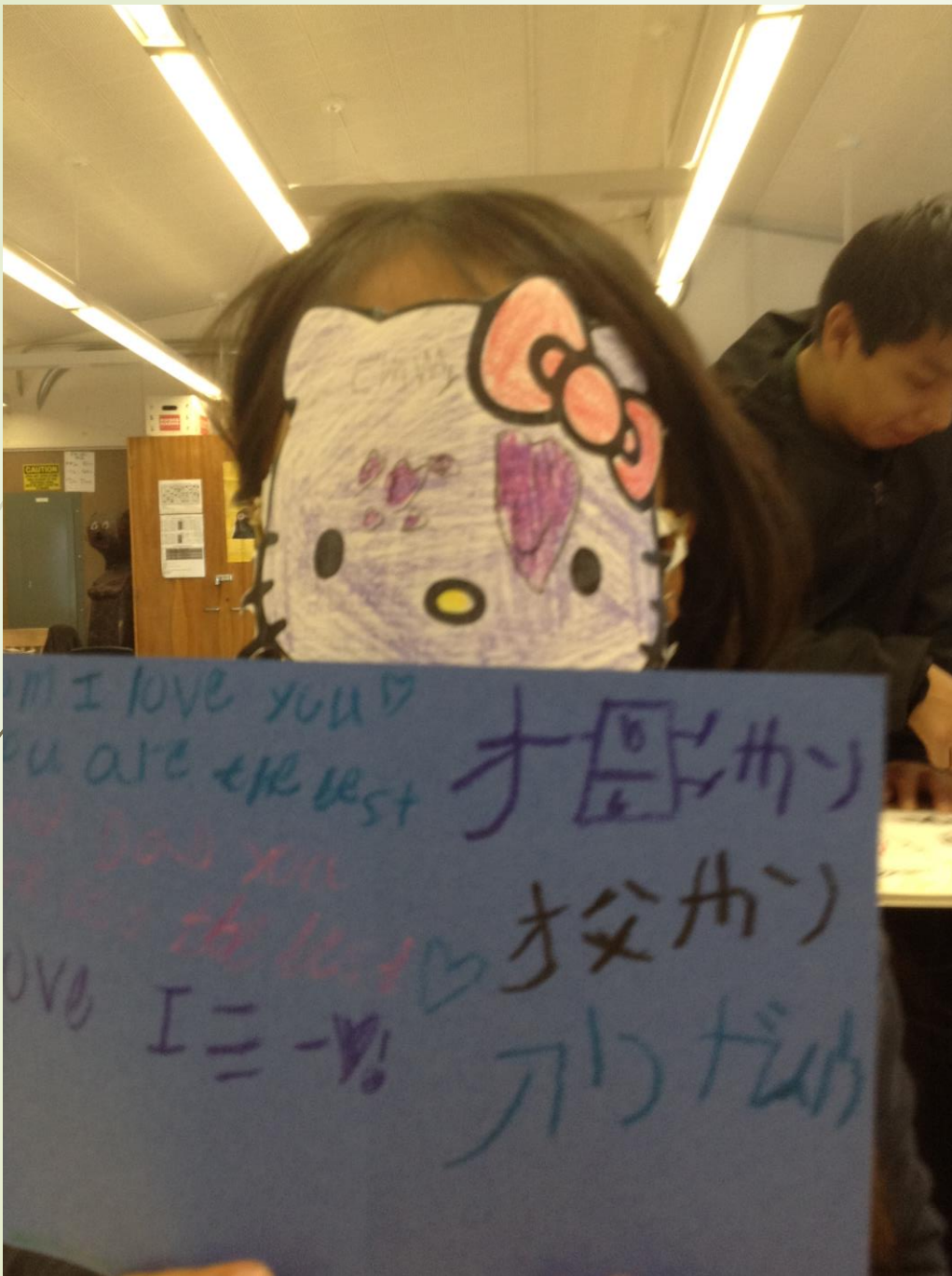
オードテラス小学校

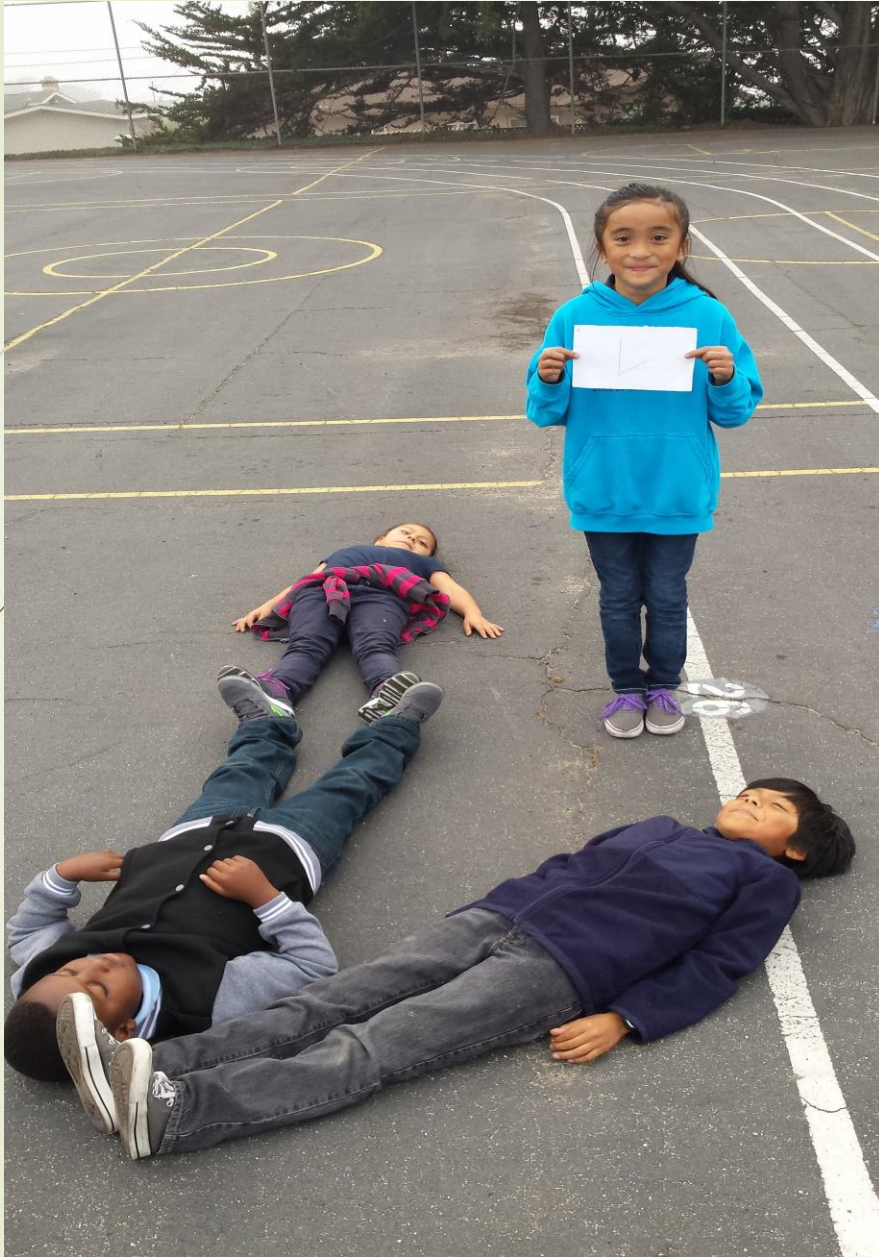
スウィート・リチャード



目次

- ▶ オードテラスで何をやった？
 - ▶ アウトカムについて
 - ▶ 最後の感想
- 





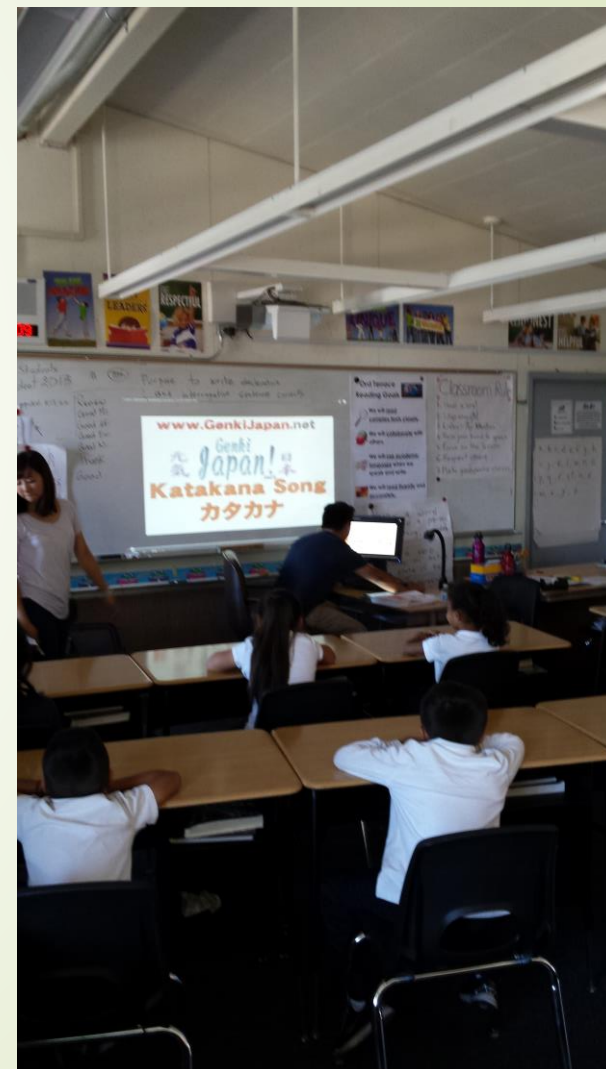
アウトカム1：自分と社会の認識



- ▶ サービスラーニングを取る前に、考えたことがないこと
 - ▶ 少数民族
 - ▶ アメリカ人の男性として持っている権利
- ▶ 色々な記事のお蔭で、社会の問題に対して意識が生まれた
- ▶ ペーギ・マッキントッシュによって書かれた「Unpacking the Invisible Knapsack」
 - ▶ 私の子供は白人の為、人種差別のせいで暴力を受けることが無いので。。。
 - ▶ 白人だけに焦点を当てた授業は見つけやすい
- ▶ 権利を考えないと、せめて白人としてはちゃんとサービスが出来ないと思う

アウトカム2：サービスと社会に対しての責任

- ▶ 「Act Locally, Think Globally」
- ▶ サービスラーニングで大事な教訓
 - ▶ 目的が大きすぎると、何も影響が与えられない
 - ▶ 細かい目的があれば、変化する様になる
- ▶ 行くことを終えても
 - ▶ 子供達の人生にずっと響き渡り続けると願う



アウトカム3：コミュニティとソーシャルジャスティス



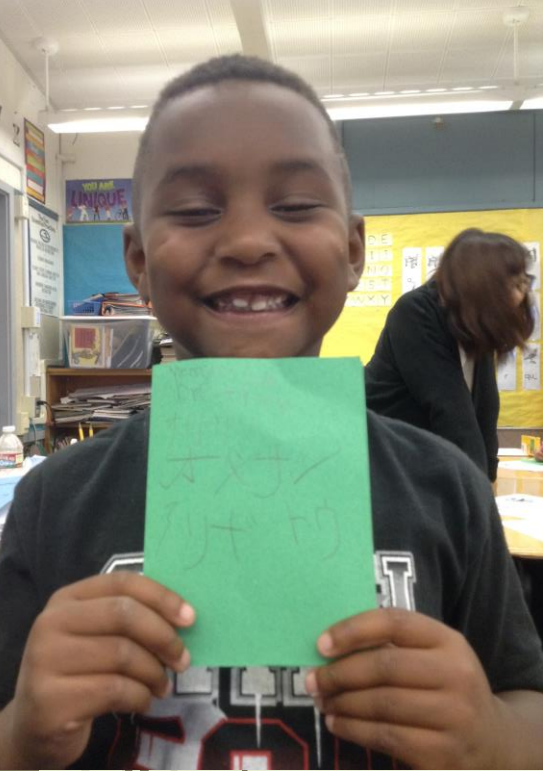
- ▶ 日本語を専攻している学生としては
 - ▶ 国々の社会問題に対して意識が生まれること
- ▶ 齋藤先生によって書かれた「Diversity and Inclusion of Sociopolitical Issues in Foreign Language Classrooms」
 - ▶ 初めて読んだ時には、実現の難しさを感じた
 - ▶ 考えれば考えるほど、サービスラーニングでやってきた
 - ▶ ステレオタイプを認めた

アウトカム4



- ▶ ボランティア活動をする時には困難な人を手伝う
- ▶ しかし、人に対して扱い方や態度等をあまり考えないこと
 - ▶ サービスラーニングを始めた時には、実は私も考えなかった
- ▶ レーメンによって書かれた「Helping, Fixing, or Serving」の一番好きになった引用とは
 - ▶ 「Service is a relationship between equals: our service strengthens us as well as others」
- ▶ 一緒に成長出来れば、もっといい教育の現場になるという確信

最後の感想



- ▶ 高校のころから、教育に関する仕事をやりたいと思っていた
 - ▶ 教師になる資格が全く解らなかった
- ▶ 生徒達への関心が薄いことに気付いた
 - ▶ 生徒一人一人と向き合うことが必要だと思う
 - ▶ クループだけで教えたり、伝えたりしたら、問題が深く見えなくなってしまう
 - ▶ その結果、効果的にサービスが出来ない可能性が高い
- ▶ J E T になりたい人として
 - ▶ 教師と一緒に計画し、実行したという経験
 - ▶ 小さい子供に慣れてきた



ご清聴ありがとうございます！

